



生活と環境

生活環境課：0869-22-1899
リサイクルプラザ・ふく：0869-22-3707
開館日 月・水・金・土
開館時間 9:00~16:00

増えています！

投資トラブル



平成21年以降、未公開株や外国通貨、ファンド型投資商品の購入などに関するトラブルが全国的に増加しています。昨年度、全国の消費生活センターに寄せられた投資トラブルに関する相談は1万5千件を超え、特に、劇場型勧誘と呼ばれる手法による被害が急増しています。

劇場型勧誘では、A社（販売業者）が未公開株の購入を持ち掛け、それと前後してB社（勧誘業者）が、A社の株を高額で買い取るといった勧誘を行うなどして、消費者が契約するよう仕向けます。しかし、購入した株をB社が買

■問い合わせ・相談先 生活環境課

かし、購入した株をB社が買い取ることはなく、次第に連絡がとれなくなりま

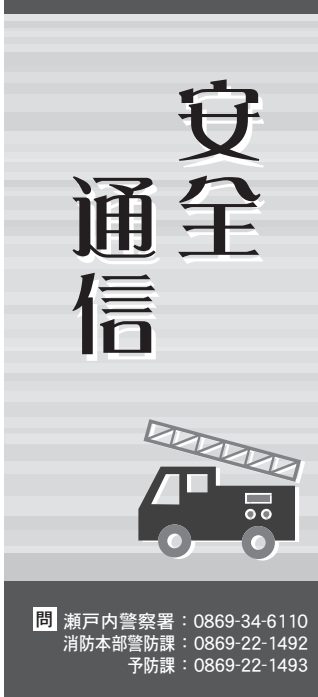
また、最近の傾向としては、次のことが挙げられます。
・高齢者が被害に遭いやすい
・電話勧誘など不意打ち的な勧誘が多い
・二次被害に遭いやすい
・被害額が高額である
支払ってしまったお金を取り戻すことは非常に困難です。少しでも不安に思うことがあれば、すぐにご相談ください。

取り組みましょう 夏の省エネ対策

環境省では、毎年夏至の日と7月7日にライトダウン（消灯）を呼び掛ける「夏至ライトダウン（ブラックイルミネーション）」と「七夕ライトダウン（クールアース・デー）」を実施しています。これらの取り組みは、消灯することで、普段いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えることを目的としています。

今年はこの2日間に加え、特に電力消費量の増える夏の時期を対象に、昼も夜も自主的なライトダウンを行うよう呼び掛けを行っています。家庭でもライトダウンをきっかけに地球温暖化問題について考え、省エネに取り組ま

必要のない照明や電気器具は、こまめに電源を切りましょう。省エネ型の蛍光灯を使用したり、照明器具自体を省エネタイプのものに取り替えると、消費電力に大きく差



安全通信

問 瀬戸内警察署：0869-34-6110
消防本部警防課：0869-22-1492
予防課：0869-22-1493

自転車を守る1・2・3

警察安全情報

自転車の盗難は、最も多く発生している犯罪で、私たちにとって身近な犯罪の一つ、と言えます。

盗難被害に遭わないために、日ごろから次のことに気をつけましょう。
①いつでもどこでもツーロック
自転車盗被害のおよそ半数

は、施錠をしていなかったために発生しています。コンビニエンスストアで買

油断せずに鍵を掛けるようにしましょう。また、自転車の窃盗犯は、盗むまでに時間がかかることを嫌がります。通常の鍵の他にも、ワイヤー錠・U字型錠などによるツーロックが非常に有効です。

③忘れず防犯登録

自転車を購入したら、必ず防犯登録を行ってください。防犯登録をせず、盗まれても盗難届を出さないまま

ると、盗まれた自転車「放置」され、地域に迷惑を掛ける場合があります。乗り捨てられた自転車はさらに盗まれたり、ひったくりなどの犯罪に利用されることもありま

す。また、所有者が変わった場合にも手続きが必要です。

■問い合わせ先 瀬戸内警察署

が出ます。エアコンの温度は28度を目安に設定し、直射日光を遮断したり、扇風機を併用するなどして、冷房が過度にならないように気を付けましょう。

■問い合わせ先 生活環境課

あなたが主役！ ごみダイエット瀬戸内

夏は気温が高いため、生ごみが臭いやすくなります。生ごみ処理機などを使って肥料にすれば、その臭いを抑えることができます。

また、生ごみは、市のごみ量全体の約2割を占めており、これを肥料として利用するだけでも、効果的にごみを減量することができます。

今回は、市の補助制度がある「生ごみ処理機」について紹介します。

生ごみ処理機には、コンポスト、乾燥式、バイオ式など色々な種類があります。どの生ごみ処理機でも、良質な肥料を作ることが出来ます。設置する場所や予算などによって、各家庭に合



うものを選ぶことができます。

市の補助制度については、本紙に折り込みの緑色のチラシ「ごみダイエット通信」に掲載しています。

また、微生物の力で生ごみを分解する「ボカシ」を使った肥料の作り方についても紹介していますので、ぜひご覧ください。

ご協力ください 梅雨時期の災害防止

梅雨の時期には、南からの暖かい太平洋高気圧と北からの冷たいオホーツク海高気圧の境目に前線ができて日本海に停滞します。この前線を「梅雨前線」と呼びます。

この時期は、曇りや雨の日が多く、また長雨や局地的な集中豪雨が発生し、地盤がゆるみ、土砂災害や河川の氾濫などによる浸水害が起こりやすくなります。

そこで、次のことに気を付けるようにしましょう。
①テレビ、ラジオ、新聞などの最新の気象情報をチェックする。特に気象庁からの警報・注意報や市からの情報に注意する。

②家の周囲の側溝排水溝は掃除し、水の流れをスムーズにしておき、ブロック塀や外壁のひび割れ、亀裂などの危険箇所は補強する。

③浸水が心配される場合は、家財道具や貴重品、生活用品、食料などを高い場所へ移動させておく。

④避難勧告や指示が出たときにすぐに動けるよう、非常持出袋を準備し避難場所を確認する。被害が予想される場合には、事前に子どもや高齢者、病人などを安全な場所に避難させておく。

⑤防災行政無線や広報車からの避難勧告や避難指示に注意する。

⑥避難にあたっては、大雨が降っていたり、浸水している場合もあるので慎重に行動する。

また、日頃から災害に備え、いざという時に素早く行動できる高い防災意識を持つ事が重要であり、災害から身を守る一番の近道です。

■問い合わせ先 消防本部警防課

